

福島第一原子力発電所の状況

平成 27年3月 11 日
東京電力株式会社

<1. 原子炉および原子炉格納容器の状況> (3/11 11:00 時点)

号機	注水状況		原子炉压力容器 下部温度	原子炉格納容器 圧力	原子炉格納容器 水素濃度
1号機	淡水 注入中	炉心スプレイ系：約 2.0 m ³ /h	15.4 °C	4.1 kPa g	A系： 0.03 vol%
		給水系：約 2.5 m ³ /h			B系： 0.03 vol%
2号機	淡水 注入中	炉心スプレイ系：約 2.4 m ³ /h	20.9 °C	2.88 kPa g	A系： 0.04 vol%
		給水系：約 2.0 m ³ /h			B系： 0.02 vol%
3号機	淡水 注入中	炉心スプレイ系：約 2.4 m ³ /h	18.1 °C	0.19 kPa g	A系： 0.06 vol%
		給水系：約 2.0 m ³ /h			B系： 0.07 vol%

【2号機】・H26/2/18 原子炉压力容器温度計(T-E-2-3-69R)の点検において、絶縁抵抗測定を実施したところ、0オーム(Ω)を指示することを確認。その後の評価により、温度計に短絡が発生しているものと推定され、原子炉压力容器温度監視機能を発揮できていない状態と判断。当該温度計は原子炉压力容器底部温度を監視していたが、近傍にある温度計(T-E-2-3-69H3)により監視することが可能。原因については、絶縁抵抗測定時の誤った電圧の印加と判断。

4/17、18 準備が整ったことから、2号機原子炉压力容器温度計(T-E-2-3-69R)の引き抜き作業を実施したが、温度計は引き抜けず、作業を一旦中断。最終リークチェックを実施し、今後、引き抜き方法について検討予定。

H27/1/14～ 引き抜き方法について、モックアップ試験を実施し、引き抜き力緩和効果が確認できたため、引き抜き作業(準備含む)を再開。

1/19 2号機原子炉压力容器温度計(TE-2-3-69R)の引き抜き作業を実施し、引き抜けたことを確認。

3/12～ モックアップ装置を用いた習熟訓練等を実施し、準備が整ったことから、2日間かけて新規温度計の再挿入を行う予定。作業は、新規コイルガイド挿入後、新規温度計(ワイヤガイド付)を挿入するかたちで行う。

【5号機】・H27/3/11 0:14 頃 5号機残留熱除去系(以下、「RHR」という)(A)系において、電動弁開閉試験前のラインナップを行っていたところ、RHRポンプ(A)の圧力抑制室側吸込弁(MO-10-13C)(以下、「当該弁」という)の「開」操作をした際に「RHR A 電動弁過負荷」の警報が発生し、当該弁が過負荷トリップした。その後、同日0:24に当該弁は、外観上異常がないことを確認。なお、炉心冷却およびプール冷却は、RHR(B)系にて行っており、影響はない。今後、当該弁の点検等を行う。

<2. 使用済燃料プールの状況> (3/11 11:00 時点)

号機	冷却方法	冷却状況	使用済燃料プール水温度
1号機	循環冷却システム	運転中	13.5 °C
2号機	循環冷却システム	運転中	27.1 °C
3号機	循環冷却システム	運転中	21.1 °C
4号機	循環冷却システム	運転中	7.8 °C

※ 各号機使用済燃料プールおよび原子炉ウェルヘビドラジンの注入を適宜実施。

<3. タービン建屋地下等のたまり水の移送状況>

号機	排出元	→	移送先	移送状況
2号機	2号機タービン建屋	→	集中廃棄物処理施設(高温焼却炉建屋)	3/2 10:25 ~ 移送実施中
3号機	3号機タービン建屋	→	集中廃棄物処理施設(プロセス主建屋)	3/11 10:48 ~ 移送実施中

<4. 水処理設備および貯蔵設備の状況> (3/11 11:00 時点)

設備	セシウム吸着装置	第二セシウム吸着装置(サリー)	淡水化装置(逆浸透膜)	淡水化装置(蒸発濃縮)	多核種除去設備(ALPS)	増設多核種除去設備	高性能多核種除去設備
運転状況	運転中*1	運転中*1	水バランスをみて断続運転	水バランスをみて断続運転	ホット試験中*2	ホット試験中*2	ホット試験中*2

*1 フィルタの洗浄、ベッセル交換を適宜実施。

*2 高性能容器(HIC)交換等を適宜実施。

<5. その他>

- ・H27/2/5 ~ 3号機海水配管トレンチの閉塞を目的とした閉塞材料の充填作業を開始。
- ・H27/2/14~ 4号機海水配管トレンチの閉塞を目的とした閉塞材料の充填作業を開始。
- ・H27/2/24~ 2号機海水配管トレンチの閉塞を目的として、立坑への閉塞材料の充填作業を開始。
- ・H26/6/2~ 陸側遮水壁工事を開始。
- ・H27/3/10 6:24 頃 当社社員によるタンクパトロールにおいて、H4・H4北・H4東エリア内周堰外側の外周堰に溜まった雨水の水位が以下の通り低下していることを確認。
各タンクエリアの外周堰の止水弁(排水弁)は降雨時に溜まった雨水を排水するため通常「開」運用としているが、当該タンクエリアについては、外周堰に比較的高い放射能濃度の溜まり水が確認されたことから、外周堰内の水を回収するとともに、念のため当該堰の止水弁を閉としていた。

<当該堰内水位>

3/9 22:30 15cm

3/10 6:24 10cm、8:15 7cm

当該外周堰内水位の低下は現在も継続しているが、この堰の内側にあるH4北・H4東エリア内周堰内の水位に低下がないこと、当該外周堰の東側にあるB排水路への流れ込みがないこと、構内側溝排水放射線モニタの指示値に有意な変動がないことを確認。
当該外周堰内の低下した水量は、3/9 22:30から3/10 8:15にかけて低下した水位と当該外周堰床部の面積から約 400tと推定。現在、漏えい状況及び原因等を調査中。

<当該外周堰内雨水>

セシウム 134:検出限界値未満(検出限界値:11Bq/L)

セシウム 137:検出限界値未満(検出限界値:17Bq/L)

ストロンチウム 90:約 100Bq/L 超過(簡易分析)

現場確認を行ったところ、H4東エリアの東側およびH4北エリアの北側外周堰とアスファルトの継ぎ目より水が流出していること、また、H4エリアおよびH4東エリアの内周堰と外周堰の間に設置されている側溝と基礎部の継ぎ目より気泡が出ていることを確認。
また、外周堰周辺のB排水路およびC排水路は暗渠化されていること、流出した水が暗渠化されていない無線局舎付近の枝排水路への流れ込みがないこと、構内側溝排水放射線モニタの指示値に有意な上昇がないことから、外周堰内に溜まった雨水は、外周堰付近の地面に浸透したものの、排水路を通じて、海への流出はないものと判断。

外周堰内に溜まった雨水については、3/10 10:25から14:52にかけて、H4北エリア内周堰内に移送を実施。外周堰内の雨水の流出量は、降雨量および外周堰に流入した雨水の総量(約915m³)から移送量(約168m³)を引いて、約747m³と推定。

なお、外周堰内に溜まった雨水の移送完了後、外周堰とアスファルトの継ぎ目からの水の流出、および内周堰と外周堰の間に設置されている側溝と基礎部の継ぎ目からの気泡が止まったことを確認。

H4・H4北・H4東エリア外周堰内に溜まった雨水の放射能の分析結果は以下のとおり。

<H4外周堰内① 雨水>(3月10日午前9時10分採取)

全ベータ :1.9×10³Bq/L

セシウム134:検出限界値未満(検出限界値:1.1×10¹Bq/L)

セシウム137:1.8×10¹Bq/L

<H4外周堰内② 雨水>(3月10日午前9時15分採取)

全ベータ :1.5×10³Bq/L

セシウム134:検出限界値未満(検出限界値:1.0×10¹Bq/L)

セシウム137:検出限界値未満(検出限界値:1.7×10¹Bq/L)

<H4外周堰内③ 雨水>(3月10日午前9時20分採取)

全ベータ :8.3×10³Bq/L

セシウム134:検出限界値未満(検出限界値:1.2×10¹Bq/L)

セシウム137:検出限界値未満(検出限界値:1.6×10¹Bq/L)

<H4外周堰内④ 雨水>(3月10日午前9時25分採取)

全ベータ :1.5×10²Bq/L

セシウム134:検出限界値未満(検出限界値:1.0×10¹Bq/L)

セシウム137:検出限界値未満(検出限界値:1.6×10¹Bq/L)

<H4外周堰内⑤ 雨水>(3月10日午前9時30分採取)

全ベータ :3.7×10²Bq/L

セシウム134:検出限界値未満(検出限界値:1.1×10¹Bq/L)

セシウム137:検出限界値未満(検出限界値:1.7×10¹Bq/L)

<H4内周堰内雨水>(3月10日午前10時10分採取)

全ベータ :4.0×10²Bq/L

セシウム134:検出限界値未満(検出限界値:1.2×10¹Bq/L)

セシウム137:検出限界値未満(検出限界値:1.7×10¹Bq/L)

<H4北内周堰内雨水>(3月10日午前10時15分採取)

全ベータ :7.3×10²Bq/L

セシウム134:検出限界値未満(検出限界値:1.1×10¹Bq/L)

セシウム137:検出限界値未満(検出限界値:1.7×10¹Bq/L)

<H4東内周堰内雨水>(3月10日午前10時20分採取)

全ベータ :4.5×10²Bq/L

セシウム134:検出限界値未満(検出限界値:1.1×10¹Bq/L)

セシウム137:検出限界値未満(検出限界値:1.7×10¹Bq/L)

引き続き、当該外周堰からの流出について調査を実施する。

【地下水バイパス揚水井の状況】

- ・地下水バイパス揚水井 No.1～12 のサンプリングを継続実施中。
- ・地下水バイパス一時貯留タンクグループ3の当社および第三者機関による分析結果[採取日3/1]については同等の値であり、ともに運用目標値を満足していることを確認。

【H4,H6エリアタンク周辺観測孔(周辺排水路含む)の状況、タンクパトロール結果関連】

<H4エリア周辺のサンプリング実績>

・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

<福島第一構内排水路・南放水口のサンプリング実績>

・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

<H6エリア周辺のサンプリング実績>

・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

【タービン建屋東側の地下水調査／対策工事の実施状況】

<地下水観測孔サンプリング実績>

・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

【地下貯水槽からの漏えいに関する情報および作業実績】

<地下貯水槽サンプリング実績>

・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

以上